



希望と不安を胸に

新年度のスタートです！

～一人ひとりの心に寄り添いながら～



校長 中里 純子

笠間小学校にも新しい春がやってきました。東門の花壇を彩るたくさんのお花が、希望と不安を胸に登校した子どもたちを明るく迎えてくれました。1年生のみなさん、ご入学おめでとうございます。在校生のみなさん、進級おめでとうございます。本日、新1年生89名を迎え、全校児童527名で笠間小学校は新年度のスタートとなりました。

春休みに入った3月。まちの中でなかよく遊ぶ子どもたち数人と出会いました。「4月は、みんなひとつずつお兄さんお姉さんになるのね。待っていますね。」「はーい！」と元気に返事をして別れた子どもたちでしたが、後ろから私を追いかけてきました。「校長先生、お願いがあります。僕たち私たちを、このまま〇年〇組のままにしてくださいませんか。」「それは難しいわね。」「やっぱりだめか。でも、この仲間と別れたくないんです。」「そんなに素敵なクラスをつくることのできたあなたたちなら大丈夫。きっとまた、素敵な仲間をつくることができますよ。」

子どもも大人も新しい環境に慣れるまで少し時間がかかるかもしれません。最初はぎこちないかもしれません。でも大丈夫。あせらず、ゆっくり行きましょう。コロナ禍が少しずつおさまり、「この4月から学校の教育活動ではマスクの着用を求めないことを基本とする」という文部科学省からの通知が出ました。笠間小学校でも、教育活動を少しずつコロナ前の状態に戻していくこととなります。この3年間という長い間、マスク生活を強いられてきた子どもたちです。一人ひとりの心に寄り添いながら無理なく進めていきたいと思えます。また、ただ戻すのではなく「子ども第一」の視点を大前提に、「持続可能な学校づくり」の視点も取り入れながら教育活動の充実を図ってまいります。

教職員も異動があり、職員室は心地よい緊張感であふれています。新たなメンバーを加えて、今年度も教職員一同、学校教育目標の実現に向けて力を合わせてまいります。保護者の皆様、地域の皆様、引き続き変わらぬご理解とご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

学校の様子を HP でも発信しております。
こちらの QR コードからご覧ください。

